

JPSTSS 2020 ONLINE Project 進捗状況のお知らせ（第1報）

JPSTSS 会員の先生、講演・座長をお願いしている先生

日ごろお世話になります。

学会へのご協力を感謝申し上げます。

8月3日のWhat's Newにてお知らせいたしましたように、JPSTSS 2020のオンライン開催に向けて準備を開始いたしました。

オンラインとなりましても、活発なディスカッションができ、また先生方に楽しんで参加していただけるよう準備を進めております。

本日は現在までの経緯と現段階での準備状況をお知らせいたします。

ONLINE 開催決定までの経緯：

可能な限り現地開催をと考えて精力的に準備を進めてまいりましたが、COVID-19 感染は終息の兆しが見えません。現地での開催を行うことにより、参加・講演を予定されている先生方に、感染リスクをおかけするのは適切ではないと考えております。7月30日に統合本部の先生方とWeb会議を行い、JPSTSS 2020をオンライン開催とさせていただくことを正式決定いたしました。

抄録集の発行と追加情報：

「抄録集（学術集会プログラムおよび抄録）」は今年開催された学会の記録でございますので、例年通り発行できるよう編集作業を進めております。学術集会開催前にお届けできると思っております。編集・印刷作業はかなりの日数を要する上に、ONLINE 開催の準備状況は日々変わっております。すべての状況が確定してからの編集になりますと、抄録集をお届けするのが大幅に遅れてしまいます。8月3日の時点で原稿を締め切り、編集作業に入らせていただきました。今回お届けする抄録集は現地開催を想定した内容となっております。

ONLINE 開催に向けた追加情報は、ホームページ上でお知らせさせていただくとともに、Web 開催のために必要な準備などをまとめた小冊子（抄録集別冊）を作成させていただく予定です。

JPSTSS 2020 ONLINE Project について：

事務局では万一の場合を考慮し様々な選択肢に関して早い時期から検討を行ってまいりました。多くの学会運営会社、Web 関連企業の担当者、Web セミナー（ウェビナー）主催者との話し合いを重ねてまいりました。最終的に、現在精力的にウェビナーを主宰されている、「医工連携日本ものづくりコモンズ」副理事長の柏野聡彦先生にシステム開発のアドバイザーになっていただき、そのプロジェクトチーム（「JPSTSS 2020 ONLINE Project」と命

名しました)に「**新しい時代の学会**」を提案すべく、当学会向けの新たなシステムの開発をお願いいたしました。

参加される会員の先生方には、活発なディスカッションを行っていただくことができ、その上遊び心にあふれたシステムを検討しております。また協賛企業にも現地開催にはないメリットを実感していただけるよう工夫しております。と申しましても、システム開発に要する時間や予算の制限がございます。現時点で私たちチームができる最大限の努力をしております。

現在の準備状況：

JPSTSS 2020 ONLINE 学会では、「**Live 配信 (Webinar) + On demand (Streaming)**」の二つの配信形式を採用いたします。Webinar は **Zoom** を使用しての配信を予定していません。

現在ご登録いただいた演題はおおよそ **400 演題**、(現地時間開催した場合の) 時間に換算しますと **8 時間 * 6 会場 * 2 日間 = 100 時間**に相当する演題となります。

指定講演 (特別講演、教育講演、ランチョンセミナー、ティタイムセミナー、SLL、ミニレクチャー、ミニレビュー)、シンポジウム、主題 (150 演題、50 時間分) は Webinar + Streaming 配信を行い、主題、一般口演、ポスター (250 演題、50 時間分) は Streaming 配信のみとさせていただきます (指定講演、シンポジウムは Live + Streaming といたしますが、主題に関しては現在検討中でございます。第 2 報にてお知らせいたします。)

タイムテーブル作成にあたり、他学会との調整、演者・座長の先生との調整が必要となります。改めてメールにてご相談させていただきます。

参加される先生方へのお願い：

演者・座長の先生はもちろんでございますが、参加される先生方にも Webinar に慣れていただく必要がございます。Zoom (最新バージョン) をインストールいただき、Web 会議などで頻回に利用していただければと存じます。**ヘッドセット**や **Web カメラ**の装備をおすすめします (高価なものではございません)。会期が近づきましたら、チュートリアルを記載しました冊子をお送りするとともに、**テクニカルサポート**ができるスタッフを準備いたします。

スライドを画面共有していただき、ライブでご講演いただくことも可能ですが、通信回線エラーやマシントラブルなどにより、セミナーが円滑に進められない事態が想定されます。リスクを最小限に抑えるために、あらかじめ**ナレーション入りのパワーポイント**をお送りいただきたいと思いますと考えております。事務局の方で動画に変換 (mpeg) させていただき、タイムテーブル上に登録させていただく予定です。当日何らかのトラブルが発生したとしても、また全員の先生が同じ時間にご集合いただくことが不可能な場合でも、ナレーション入りのパワーポイントをあらかじめご提出いただくことにより、セミナー当日での配信が可能と

なります。

今回はすべての演題を On demand (Streaming)配信させていただく予定です。一般口演、ポスターを含めて、演音声付きスライドをご準備いただきたいと思います。パワーポイントへの音声録音方法はチュートリアルにて改めてご説明いたします。

学会の開催形式は変更となりましたが、参加されるすべての先生に楽しんでいただけるよう準備を進めております。

ONLINE 上ではございますが、皆様にお会いできる日を楽しみにしております。

今後ともよろしく願いいたします。

問い合わせ：

亀田総合病院 診療部事務室内 JPSTSS2020 事務局 （担当：三村、伊丹、鈴木）
kameda.jpstss2020@kameda.jp

2020年8月9日

第27回 日本脊椎・脊髄神経手術手技学会 会長
亀田総合病院 脊椎脊髄外科 部長
久保田基夫 拝